

くすりのしおり

注射剤

2022年10月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：オニバイド点滴静注 43mg

主成分：イリノテカン塩酸塩水和物 (Irinotecan hydrochloride hydrate)

剤形：注射剤

シート記載など：



この薬の作用と効果について

がん細胞の遺伝子（DNA）の合成にかかわる酵素を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。通常、がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵癌の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。骨髄機能抑制、感染症、下痢、腸管麻痺・腸閉塞、間質性肺疾患または肺線維症、腹水・胸水、黄疸がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1日1回90分間かけて静脈内に点滴注射し、13日間休薬します。これを1サイクルとして繰り返します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にお聞きください。

生活上の注意

- ・食べ物や飲み物の種類によっては薬の働きが影響を受けることがあります。グレープフルーツジュースは、薬の働きを強くするおそれがあるので、治療中は飲まないでください。また、セイヨウオトギリソウを含む食品は、薬の働きを弱くするおそれがあるので、摂取は控えてください。
- ・骨髄機能抑制や重度の下痢などの重篤な副作用が起こることがあるので、頻回に血液検査などが行われます。また、間質性肺疾患があらわれることがあるので、定期的に胸部画像検査などが行われます。
- ・妊娠する可能性のある女性やパートナーが妊娠する可能性のある男性は、この薬を使用している間および使用終了から一定期間は適切な避妊を行ってください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、吐き気、嘔吐、口内炎、便秘、腹痛、無力症、発熱、食欲減退、味覚異常、脱毛症、体重減少などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・発熱、出血傾向、貧血症状 [骨髄機能抑制]
- ・腹痛、水のような便が出る、泥状のゆるい便が出る [下痢]
- ・発熱、寒気、体がだるい [感染症]
- ・体がだるい、食欲不振、白目や皮膚が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]
- ・意識障害、呼吸困難、じんましん・かゆみ、まぶた・唇・舌のはれ [インフュージョンリアクション]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。